

1

2009

睦月

すくらむ

西海市

社協だより

「飾ってください」

手作りの門松お年寄りに

大串小6年生が西彼デイサービスへ

ずっと住みたいまち 西海

良いとこいっぱい 芦野



24歳 松井 由季 (大瀬戸)
大瀬戸の特別養護老人ホーム海風荘で
介護員として勤務。4年目になる。

人は慣れ親しんだ土地で年を重ね、いつまでも自分らしく暮らしていきたいと願っています。

新年のスタートにあたり、年男・年女の4人に「ずっと住みたいまち 西海」をテーマに、それぞれの思いを語っていただきました。

福岡 松井さんはどうして介護の仕事をしようと思ったのですか。

松井 小学生の頃に、社協が主催している福祉セミナーに参加し、さまざまな福祉体験をして福祉の仕事をしたいと思いました。短大で福祉を専攻して、海風荘で働いています。

津本 民生委員のお話をもらって、ちょうど1年が経ちました。看護師を退職後、農業をしてみました。が、そう簡単にはいきませんでした。おしゃべりをすることと人のお世話をするのが好きですね。

福岡 田川さんは西海町生まれですか。

田川 はい、私は西海町の天久保生まれです。田畑を開いて一生懸命働きました。苦労もたくさんしたけど、何でも自分のためと思っています。

福岡 芦野さんは子育てで真最中ですが、西海市の住み心地はどうですか。

芦野 下関から大島に来て、最初は何もないところだというイメージがありました。でも、住んでみると自然がたたくんで、良いと



36歳 芦野 浩亮 (大島)
出身は山口県の下関。大島造船所に勤務。第二子が昨年12月末に誕生。

こいっばい。だんだんよさがわかってきました。

介護はその人に合わせて 松井

福岡 芦野さんは子育てに関して何か要望はありますか。

芦野 正直ありません。その裏返しというのは、すでに整った環境の中で子育てができていていいのではないかと考えています。大島は幼児が多いので、子ども同士でも母親同士でも仲良くでき、周りとのつながりもあるので満足しています。

津本 子どもが多いことはうらやましいですね。

私が住む西彼町の亀浦地区は穏やかな地域です。ひとり暮らしのお年寄りに地

域の人が声かけをしたり、おかずをもつていたりすることもあります。民生委員になってその人に応じた接し方が大切だと感じます。

松井 そうですね。施設の利用者もこれまでの人生で積み上げてきたものがそれぞれにあり、個々人に合わせた援助が必要です。現場に入って、その難しさや理想と現実の差を感じることもあります。

田川 松井さんは、これかなので頑張ってくださいね。

感謝、感謝の毎日です 田川

福岡 田川さんは松井さんの4倍の人生を生きていることになりましたね。

松井 田川さんすごいですね。

実はいま、介護職から離れていく若い世代の人が多くいので、続けていってほしいです。職員が変わるといふことは利用者にとってみると不安なことなんです。

てよかったと思えるように頑張ります。

田川 この世は極楽です。おかげさまでと感謝の気持ちで忘れないことです。一日一日を大切に暮らしていきますよ。

芦野 私も人生の約半分を西海市で過ごしています。が、ずっとここに住みたい

互いに助け合う地域に 津本

福岡 この場の4人の方にもそれぞれの人生がありま

と思うようになりましたね。



60歳 津本 真弓 (西彼)

民生児童委員として地域の相談事に応じて約1年。趣味は踊り。

ういうことは子どもの頃からしっかり教えてくださいますね。

芦野 はい。頑張ります。子どもにとってもこの町が故郷ですからね。

田川 これも何かのご縁です。皆さんに会えてよかつ

た。長く生かしてもらってよかったです。これでまた長生きできそうです。

松井 田川さんのように感謝の気持ちを忘れず、これから福祉の専門職として、その人の立場に立って考えることができるように頑張ります。

福岡 人生にも勝ち負けがあるとするなら、人生は、ひとつでもたくさん笑ったが勝ち！ 私はいつもそう思っています。新しい年が皆さんにとって、市民の方々に、ひとつでも笑いの多い年でありましよう、心から願っています。ありがとうございます。



96歳 田川 チマ (西海)

高齢者で単身の方が入居する西海高齢者生活支援ハウスにお住まい。配食サービスやデイサービスを利用。

す。でも、確かなことは、人は決して自分だけでは生きていけない。3万2千の市民が、それぞれの地域で互いに支えられたり支えたりする、いい人間関係であってほしいですね。

津本 みんなが民生委員のような思いやりの心を持った西海市になればいいですね。互いが助け合える地域になるよう、民生委員として皆さんの役に立てたらと思っています。芦野さん、そ



福岡 昭和
西海市社会福祉協議会会長

民児協会長10年で 浦詰さん受賞

民生児童委員活動の強化を目的にした県民生委員児童委員活動研究大会が11月28日、諫早文化会館で開かれ、西海市から79人の民生児童委員が参加。

大会式典では、会長職を10年務めた崎戸地区民児協会長の浦詰則彦さんが、長崎県民生委員児童委員協議会会長表彰を受賞されました。浦詰さんは民生児童委員として平成7年に

県民児協活動研究大会



講演を熱心に聞く民生児童委員



表彰を受ける浦詰さん(右)

厚生労働大臣から委嘱を受け、福祉の困り事の相談にあたつて13年目です。

また、臨床心理士で明治大学の諸富祥彦教授が「ここるところがふれあうとき」と題して講演。ユーモアを交えた語りで会場を沸かせながら「民生児童委員として、相手に安心感を与え、相談しやすい雰囲気を持つことが大切」と民生児童委員の心構えを訴えました。

独居高齢者とボランティア 交流深め広がる輪 大瀬戸 にこここコール



いろいろあるね

ひとり暮らし等のお年寄りを対象に週2回、電話で安否確認をしている大瀬戸のボランティアグループ「にこここコール」。

利用しているお年寄り15人とボランティアとの交流会が12月11日、西彼保健福祉センターであり、互いの近況を語りながら親睦を深めました。

食事やすき焼きジャンケンゲームなどのレクリエーションを楽しみ、新しくできたスーパへ買い物にも出かけました。

参加者は「都会のごたるね」「いろいろありすぎて選びきらんばい」と、おやつや野菜などを買っていました。

にこここコールは困り事の相談に乗ることも。現在、ボランティア会員募集中です。



見学する福祉施設職員

福祉施設職員が見学

保育所やグループホーム

福祉施設で働いていても他施設を見学する機会には少なく、気になるもの。そこで市福祉施設連絡協では、他施設のサービス理解と職員との交流を目的に、12月9日から12日までの期間で市内福祉施設を見学しました。

47人の参加者が5人程度の12コースに分かれ、グループホームや身体障害者更生施設、保育所など計30カ所の施設を訪ね、日常生活を見学。

参加者は「施設の種別が違っても吸収するものがあった」と話し、他施設を知ること視野が広がり、それぞれが業務の質向上を真剣に考えました。

大島



大島幼稚園児からのプレゼントにっこり

平島



笑う門には福来たる

年の瀬に

ひとり暮らしのお年寄り招き

忘年会

ひとり暮らしのお年寄りを招き、交流と親睦を図るひとり暮らし忘年会を年の瀬迫る12月、大島、崎戸、江島、平島でそれぞれ開きました。4会場合わせて128人のお年寄りが参加し、幼稚園児による出し物や尺八の演奏、舞踊、お友だちとの会話に楽しい一日を過ごしました。

会場設営や料理などの準備はボランティアが

ループや民生児童委員などの協力を得て運営
参加した
崎戸町江島の北アツさんは「本当に楽しかった。来年も来れるように元気で過ごしたい」と笑顔で話していました。

江島



演芸を楽しむ参加者

赤い羽根グラウンドゴルフに

180人が熱戦

赤い羽根グラウンドゴルフ大会を11月26日、西彼多目的公園で開き、30チーム、180人が熱戦を展開。参加者はグループごと

に8ホール2ラウンドで日ごろ磨いた腕を競い合いました。

中でも大串Aクラブの池谷君江さん(西彼)は1ラウンドに3回以上ホールインワンした際に贈られるダイヤモンド賞を獲得。また

計57回ものホールインワン

ボランティアの協力で振る舞われたぜんざいもあり、身も心も温まる一日でした。

上位成績は次のとおり。

優勝 大島スターズ(大島)
準優勝 西海ポルト(西海)
第3位 大島大橋(大島)



「入れ!!」実力を競い合う選手

ダイヤモンド賞も

「カツコーの鳴き声」 音響式信号機 もっと

懇談会で要望

「誘導音が出る信号機をつけてほしい。外出時に付き添ってくれるガイドヘルパーがいたら」―視覚障がいのある人の切実な意見です。

生活用具を直接手でさわって、熱心に性能を確かめていました。

参加者は「目から情報が入らないので、防災無線から流れるラジオ体操や音楽で時間を知ることもある。こんな懇談会をまた開いてほしい」との要望もありました。

日々の暮らしに生活用具

人は視覚、聴覚などの感覚から情報を得ていますが、約8割以上は目から得ているといわれます。

視覚障がい者向けの生活用具の展示と懇談会が11月16日、崎戸町と西海町で行われ、目の不自由な人やその家族30人が参加しました。生活用具の活用で生活の不便さを改善してもらおうと、長崎県視覚障害者協会が主催。

金種別小銭入れや音声時計、リモコン発見器などの

日々の暮らしに役立てています。



ボタンの上部を押すと「午前9時28分です」、2回押すと「1月4日、日曜日です」と音流れます。

生活用具の相談をする参加者

時刻だけでなく日付、曜日まで知らせてくれます。

平成21年歌謡行事企画 歌の大好きな方への速報

ミニ発表会 (歌う友の集い)

入場無料

平成21年1月5月9日第2日曜日 開演12:30
会場 大島楽市2階多目的ホール
歌手募集 西海市周辺の方どなたでも可 (40名限定)
参加料 500円/人 (昼食無し)
曲名 希望者は懐メロ、新曲2曲可 (2コーラス)



年4回の歌謡行事です。歌手の申し込みは定員40名で締切です。お早め
に手続きを済ませてください。

2009年 ふれあい歌謡祭

入場無料

平成21年11月21日(土) 開演12:30
会場 大島農村勤労福祉センター
歌手募集 西海市周辺の方どなたでも可 (40名限定)
参加料 2,000円/人 (昼食付) 曲目は1曲 (2コーラス) です
ゲスト出演 県下歌謡教室講師による歌謡ショー有り



有料広告

申し込み主 催

ハガキに氏名、電話番号、曲名、歌手名を記入の上、下記宛に申し込みください。
ふれあいセンター(懇) 歌謡事務局
〒857-2401 西海市大島町真砂1869番地 電話 34-4043

福祉6団体 連絡協だより

西海市福祉団体連絡協議会
社協本所内 電話 29-4111



母子会



「よつ見とけよ」

親子でチャレンジ

そば打ち体験

ひとり親家庭支援事業

市母子寡婦福祉会は、12月14日、ひとり親家庭支援事業の一環として、西彼青年の家で親子そば打ち体験を行いました。

西彼青年の家の辻道行所長の指導のもと、親子40人が初挑戦。そば粉を混ぜ、こね、延ばす作業に悪戦苦闘しながら、何とかそば粉だけで十割そばが出来上がりました。

ゆでたてのそばをほおばりながら、「とても楽しかった。ぜひ家でも挑戦したい」と笑顔で語ってくれました。

身障協

努力が実を結ぶ 西海町の永磯氏が金賞受賞



表彰を受ける永磯氏

「障害者による書道・写真全国コンテスト」が行われ、全国871点の応募作品の中から足の不自由な永磯利彦さん（西海）が書道の部で見事金

賞に輝きました。一昨年は銀賞を受賞。今回は長崎県で一人だけの受賞とあって、喜びもひとしお。
「信じられないが、とても光栄。また入選できるように、頑張つて書きます」と力強く抱負を語ってくれました。

独逸 秀槐

利彦

(金賞作品)

老連

全国から老連会員 1600人結集

全国老人クラブ長崎大会



研究部会の報告を聞く参加者

11月18、19日と長崎市で開かれた全国老人クラブ長崎大会に西海市から39人が

利用者と中学生と一緒に踊るソーラン節



育成会

地域行事として定着

互隣まつりに約500人

市手をつなぐ育成会と知的障害者通所授産施設「互隣の家」との共催で11月22日、互隣まつりが開催され

ました。

うどんや綿菓子、焼きたてパンの販売のほか、西海保育園児のかわいい鼓笛隊を皮切りに、西海南小学校は歌「崖の上のポニョ」や踊りを披露。大島中学校は、利用者と一緒にソーラン節を踊るなど、会場は盛り上がり、拍手に包まれました。

参加しました。

初日は、5つの研究部会に分かれ、その中の「若手高齢者の組織化と活動」に出席した黒崎治義さん（崎戸）は、「魅力ある老人クラブにしていくには、団塊世代のアイデアを取り込むことが重要」と話してくれました。

2日目は、全国から約1600人の会員が長崎ブリックホールに結集。

誰もが安心して暮らせる地域社会を目指し、「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を積極的に取り組むことを誓い合いました。

どなたでも利用できる社協レンタカー

社協会員や福祉団体は割引

1日の貸出料金

(消費税込み)

料 金 区 分	10人乗りワゴン車	軽自動車椅子リフト車	マイクロバス
一 般 料 金	15,000円	6,000円	25,000円
西海市社協会員	10,000円	5,000円	15,000円
福 祉 団 体	7,500円	3,000円	12,500円
※ 福 祉 優 待		4,000円	

予約受付

平日 8:30~17:30まで

申込み先

西海市社会福祉協議会

電話 29-4081

※福祉優待料金は、介護保険受給者(要介護1以上の認定を受けている人)、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳保持者及び介助者のご利用に適用されます。



10人乗りワゴン車
(チェーン・スタッドレスタイヤ装備)



軽自動車椅子リフト車



マイクロバス
(スタッドレスタイヤ装備)

守ろう子どもの命

不要なチャイルドシート 募集

社協では家庭で不要になったチャイルドシートを譲り受け、無料で貸し出しています。大変好評で14台あるシートが品不足気味もしばしばです。借りたい場合は社協へご相談ください。



今年の干支は丑(うし)。「牛の歩みも千里」。努力を怠らなければ成果があがるというもの。日々の努力を心がけ、今年も良い年であるよう願っています。(H)

牛が人の生活と密接な関わりをもつようになったのは、遠い昔のこと。現在、一家に車が必要なように、昔は運搬や農耕などで牛は重要な役割を果たしてきました。近代化とともに肉牛、乳牛として役割を代え、今も人間の生活に欠かせません。



◆西海町
大串嘉代子様
(故 文代様)

▽忌明け
社会福祉事業資金として次の方々から香典返しに代えて寄付をいただきました。ご逝去された方々のご冥福を慎んでお祈りいたしますとともに、ご遺族のご厚情に心から感謝申し上げます。

ご寄付・お礼
11/14~12/7 受付分

◆大瀬戸町
拝崎直二様
(故 晋一郎様)

◆大瀬戸町
藤田ティ様(故 吉助様)

◆山戸ミサ様
(故 弥四郎様)

◆高瀬レイ子様
(故 重夫様)

◆秋山萬千代様
(故 隆雄様)